

那覇市長 様

令和 4 年 10 月 21 日

団体名 NPO法人1万人井戸端会議

代表者 南 信乃介


担当者 續 洋子

「なは市民活動支援事業」

中間報告書

令和4年7月11日付け、那覇市指令市ま第1518号で交付決定の通知を受けた当該事業について、下記のとおり報告します。

1.事業名	「地域の子どもは地域で育む～SDG s だれも取り残さない。だれもがかけがえのない存在～」	
2.実施内容	(何をいつ実施したか(事務局会議は除く)、対象者や実施場所など) 子育てあるあるトーク講座「我が家のトリセツワークショップ(年長さん低学年1～3年)」 ・4回連続講座(10/15.22.29.11/5毎週土曜日) 第1回目10/15(土)10～12時実施(ワークショップで仲良くなる。) 申込者5名 当日参加者4名 おひとりは子どもが発熱のためお休みの連絡あり。 初回でしたので、「同心円」でお互いの共通点と異なる点を話し、他己紹介で初対面の緊張をほぐす。 子育ての悩みを付箋紙に出す作業を通して子育ての悩みを共有し、次からの3回分のプログラムを作成する。 ・映画「みんなの学校」上映会広報活動中。 ・子どもの権利条約フォーラム広報活動中。	
3.これまでの活動の振り返り	【良かった点】 参加者の声で「久しぶりに大人の女性とおしゃべりできてうれしい、ママ友ができなくておしゃべりする機会もなくなった！」の声に胸を打たれる。 「コロナ禍でなかなかこうして集まって対面で他人と話す機会がとてもすくなくなった。」という終了時の今日の一言の声で聴いて、少人数でもやり続けることの大事さを痛感する。	【改善点・今後につなげる点】 今回の低学年部の保護者対象(次年度就学児～小3)SNS、チラシで広報するが参加者が増えなかった。託児つきでなかったからか、4回連続講座が難しいのか分析して次につなげる。 次回は高学年部(小4～6)のチラシを配布するが託児なしで募集する。 地域の人材発掘に繋ぐ。
4.今後の事業予定	(何をいつ実施するか、対象者や実施場所、など) ・子育てあるあるトーク講座「我が家のトリセツワークショップ(高学年3～6年)」 4回連続講座(11/12.19.26.12/3毎週土曜日10～12時 ともかぜ振興会館) ・映画「みんなの学校」上映会(11/17～19) 11/17(木)10～12時 那覇市社会福祉協議会(定員30名) 19～21時 ともかぜ振興会(定員50名) 11/18(金)10～12時 那覇市繫多川公民館(定員100名) 19～21時 沖縄県総合福祉センター(定員36名) 11/19(土)10～12時 協働プラザ(定員50名) 12:45～14:45 協働プラザ(定員50名) ・子どもの権利条約フォーラムin那覇/沖縄12/10～11 沖縄大学 参加並びに分科会企画運営 ・徳永桂子氏(性教育ファシリテーター・CAPスペシャリスト) 県外から招へいして支援者の勉強会(R5.1.26) 「境界線(他者との距離感)同意」について学ぶ 19～21時 ともかぜ振興会 ・映画「ゆめパのじかん」上映会(R5.2.3.～5)	

<p>5.写真 (簡単な説明文を記入)</p>	 <p>(子育てあるあるトーク講座「わが家のトリセツワークショップ」第1回目10/15実施風景)</p>	<p>()</p>
		<p>()</p>
<p>6.活動の成果目標</p>	<p>「子育て応援ワークショップ（低学年編・高学年編）」を各4回×2＝8回、上映会を6回以上実施し、保護者の悩みをお互いに分かち合い、ひとりじゃないことを知る。そして、解決方法の糸口を見つけ、少しでも大変な子育ての一助になる。ひいては子ども自身も生きやすくなり、地域全体に子育ての輪が広がる。</p>	
<p>7.現時点の成果目標達成度 (例：60%達成)</p>	<p>7.08%【子育てあるあるトーク講座の1回目を実施：1回÷（ワーク8回+映画9回）】 映画「みんなの学校」上映会の広報スタート。すでに申込3名あり。沖大の教員の卵の学生さんも鑑賞予定あり。那覇市社協の関係者、金城小校区まち協メンバー、識名小校区子ども総合プラン会議メンバー、石嶺小校区まち協メンバー鑑賞予定。</p>	

* 10月21日（金） 提出

* 提出方法：メールにて提出

* 提出いただいた中間報告書は、ホームページにそのまま掲載予定です。枠を広げて構いませんが、2ページに収まるように記入してください。

* 中間報告書は、報告会で参加者に配布予定です。この報告書をもとに報告発表していただいても構いません。